



Ferris University

2009 No.7

フェリス女学院大学同窓会会報



《聖句》

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」

ローマの信徒への手紙 12-15

声の思い出

学院理事長 小塩 節



人の面影はいつまでもなつかしく心に残ります。何年たっても忘れられぬ人の姿、顔立ちがあります。おぼろに、或はありありと。

人の声は、一度聴こえて、そのまま消えてしまうことが多い。でも私には、さりげない誰かの声や、遠い畑の向こうで子どもが歌っていた歌声が、何年たったあとになっても、はつきりよみがえってきて、心を揺るがすことがあります。そして、間近かに向い合った人、かたわらにいてくれた人の声は、まさにその人の人柄そのままに、いや、人柄自体となって私の心につよく残ることがあり、私は、人の声は人の人格、あるいは個性そのものではないか、とさえ思うことがあります。

人間の言語は、もともととは音声言語として長い年月をかけて発達してきました。言語はその長い歴史の末について文字言語となりました。その歴史は人類史の中ではかなり新しく、せいぜい数千年のものでしょ

う。でも、文字を持って以来の人類文化は飛躍的に進歩発達し、ついにはいまの電子言語にまで至っています。

これらは音声言語学を含む言語学や解剖学、考古学その他の分野で詳細に研究が進んでいます。音声は学問対象なのだけけれども、ひとりひとりの「声」は、まだまだ学問対象となり切つてはいないようです。ふつくらした声、ぬくもりのある声、意地悪な声。あるいは洋の東西で違う声としては、日本人の声は一般に高めで、ドイツ人は低いなどということもまだこれからの研究課題でありましょう。

声を保存する機器の発達によって、これらの言語研究はずいぶん進んでいくでしょうが、ひとりひとりの人格と結びついた声についての評価や分析はまだまだ先のことでありましょう。——こんな、わかり切ったことをあえて申しますのは「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」(Do) For Others、と言われた二千年前のイエスの肉声は、どんなお声だったのだろうか、と私はよく夢想するのです。そのお声を一度は聴きたかったな、なんて、まったく夢のようなことを思います。その代り、子どもの頃可愛がつて下さった、のちのフェリス女学院長山永先生の朗々たるお声、少年時代によくモーツァルトを聴かせて下さった宮本武之助先生の静かなお声が、今もはつきり思い出されます。

「心を一つに」

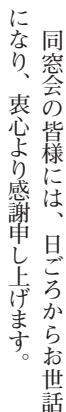
学院長 岡野 昌雄



のすべての活動が創立者の見た夢や幻につながっていることを確認できるような機会にしたいと思っています。

キダー女史がここ横浜で子供たちを教え始めたとき、最初のクリスマスマスをどのような思いで迎えたのでしょうか。学院では毎日礼拝を捧げていますが、キリスト教がマイノリティの日本でも、キリスト教と聞いて誰もがまず思い浮かべるのは、クリスマスではないかと思っています。学院でも毎年中高、大学、教職員、同窓会、それぞれにクリスマスを祝っています。来年は、創立者の見た夢や幻に思いを馳せ、学院の理念を再確認しながら皆が思いを一つにできる機会として、学院関係者が一堂に会したクリスマス礼拝の計画を進めています。幸いに五千人が収容できる横浜パシフィコの大ホールが使用できることになりましたので、来年一二月一八日の午前、皆さんとご一緒に、静かで心のこもったフェリスらしいクリスマス礼拝を捧げたいと思います。それだけでは創立記念行事としては何か物足りない思いをされるかもしれませんが、神様の祝福を受けながら、生徒、学生、教職員、卒業生、家族が揃って、聖書のメッセージに耳を傾け、一緒に讃美歌を歌うクリスマス礼拝は、フェリスは一つという思いを強くし、きつといつまでも思い出に残るものと信じています。

学長 宮坂 覺



同窓会の皆様には、日ごろからお世話になり、衷心より感謝申し上げます。

5月31日、横浜開港一五〇周年記念の式典が催されました。横浜港は、一八五九年（安政六）年、長崎・函館とともに、二二四年ぶりに外国に開かれました。当時の横浜村は、百戸にも満たない半農半漁の集落でした。が、この一五〇年の間に横浜は大きく発展を遂げ、今や人口三六七万人近い最大の政令都市に発展しました。開港以来横浜は、外国に目を注ぎさらにその窓口となり、日本の近代化に先導として大きな役割を果たしてきました。フェリスは、その横浜のコアの一部を担ってきたような自負もあります。

フェリスが誕生したのは、一八七〇（明治三）年ですから、横浜開港の11年後になります。いうまでもなく、キリスト教禁教の高札が辻々に立っていた時代です。以来フェリスは、日本の近代化を目的し参画し続けてきました。そして、来

年一四〇周年の中仕切りを迎えます。

この間、キダー女史をかしらに何千人という先人たちが、何万という進取の精神に富んだ若い女性たちを世に送り出してきました。これがフェリスです。この歴史は誇るべきものです。For Others「他者のために、他者と共に」に、常に新しく時代を踏み抜く、リベラルで進取のハイカラで凛としたものを感じます。今もその新鮮さは一向に色褪せていません。フェリスの魅力は、伝統に支えられながら進取の精神を有した自立的女性をイメージするところにあるともいわれています。おそらく、「日々新たにされ」（コロサイ信徒への手紙3・10）の思いと無関係ではないでしょう。リベラルで凛とした姿勢に裏打ちされています。フェリスの歴史・伝統が紡いできたものに感謝と矜持を感じ、力を頂きながら、更なる困難な時代にリベラルに凛として生きてゆきたいと思います。

一四〇周年を機に、「日々新たにされ」つつ、同窓生の皆様が誇れる母校として更なるよき紡ぎを怠らぬ所存です。社会のいろいろな場で活躍し、経験豊かな皆さんに今後も母校のためにお知恵を拝借したいと思えます。フェリス女学院大学の未来によき遺産が残せるよう、いろいろな形で力を貸して頂きたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いたします。

一九九五年の発足以来、維持協力会には在学生の保証人、同窓会、一般有志の方々にご加入いただき、現在二、七〇〇名を超える方々にお支えいただいております。

これらの寄付金は、大学部会においては文学部棟、キダーホール・緑園、図書館棟、体育館、音楽練習棟建設の資金の一部として大切に活用させていただきました。二〇〇六年度以降は、大学キャンパス施設設備拡充の将来計画実現に向けて、この目的にのみ使用する「第二号基本金引当資産」に組み入れております。暖かいご支援に、改めて心よりお礼申し上げます。

会員の方には3月にご案内いたしておりますが、卒業生の方にも一緒にフェリスとのつながりを強めつつ、楽しんでいただける会にしたいと願い、維持協力会のあり方を見直しました。具体的には、年会費「一〇〇〇円」からご入会いただけるよう規約を改正し、「寄付金」と区別しました。この「会費」は会員の方とフェリスとの情報交換や、教育活動の様子を実感していただく企画・活動にあてる予定です。「寄付金」については、ご事情のゆるすかぎり後輩達への教育環境充実のためにお力をお貸しいただければ幸いです。

ご入会くださった方には会員証を発行します。この会員証のご提示によって、大学



図書館・フェリスコンサートでのチケット割引など本学での特典のほか、元町・商店街をはじめ協力店舗、ホテルのお買物・ご宿泊で優待をご利用になります。学院HP及び「維持協力会たより（第三号）」で詳しく紹介しております。

山手10号館の外装改修工事が竣工し、新しくなりました。9月19日(土)開催の見学会では会員の方を対象に、建築のご紹介や山手地区洋館の自由見学を予定しております(同伴一名可)。お申し込みは9月1日(火)まで。

【日時】 12月1日(火) 14:00~15:30

【申込先】 総合業務課（11月20日まで）

りべるて・Fグループ・りてら 合同総会

2009年4月29日・カイパー記念講堂にて



第7回合同総会は、はじめて若葉の美しい山手のカイパー記念講堂に、二〇〇名を超える会員をお迎えして開催されました。

大学宗教主任廣石望先生の司式により礼拝はとり行なわれました。『ヨハネによる福音書』10章11～16節を朗読し、『一つの群』と題してお話下さいました。カイパー記念講堂での礼拝を懐かしく思われた方々も大勢いらっしゃいました。

次に同窓会を代表し、Fグループ大谷会長よりご挨拶がありました。その中で五八九名の新会員をお迎える喜びと、来年創立一四〇周年を迎える学院に同窓会として協力していく為に同窓生のご支援をお願いする旨、話されました。

ご来賓の小塩節理理事長は、フランス在住の卒業生にまつわる楽しいお話をされました。

岡野昌雄学院長は、来年学院が一四〇周年を迎えるにあたり、同窓会の力をお借りしたいとお話をされました。

宮坂覺学長は、昨今の厳しい社会状況を踏まえて、大学の様子を話されました。

また、渡辺浪二文学部長、藏田雅之音楽学部長、江上幸子国際交流学部長にご出席いただきました。

た。学院より小松田貞利事務局長、秋山信義大学事務部長にご出席いただきました。

続いて音楽学部新卒業生によるクラリネットの独奏と、ソプラノの独唱をお聞きしました。

懐かしい校歌を歌い、記念撮影をして、カイパー記念講堂を後に、それぞれの会場へ向かいました。

昨年より4月29日が大学の授業日となり、緑園校舎で開催することが難しくなりましたので、学院にご相談をして

て山手での開催となりました。同窓生の皆様

にも好評でしたので、来年もまた、4月29日(祝・木)、カイパー記念講堂で開催する事といたします。どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご出席下さいませ。様お願いいたします。



第20回 りべるて総会

4月29日(木) 家政科記念館において、りべるて総会が開催されました。議事に先立ち金子会長より、記念館の全面改修という嬉しいプレゼントを学院から頂いたとの報告と、お菓子講習会、お料理講習会で、現役学生との交流をはかり、お役に立てる事をとても大切に思っているとの挨拶がありました。

議事に入り、2008年度活動報告、決算報告、会計監査報告、2009年度活動計画(案)、予算(案)が審議承認され無事終了となりました。

今年の総会は7年振りに山手で開催されたため参加者も多く、引き続き行われた懇親会には、宮坂学長、秋山事務部長をお迎えし楽しい会となりました。その中で宮坂学長は、山手には同窓生が多く集まる、これからも山手を大切にしていきたいと熱い思いを述べられました。また、りべるて同窓会が、その特性を生かし、学生と交流する機会を持つているのはとても良い事ですとおっしゃって頂きました。秋山事務部長からは、大学の入試、就職状況についてお話を頂きました。

今年度の主席者は、委任状を含め一、六五四名でした。総会が同窓生の交流の場になる事を役員一同心より願っております。以上、感謝と共にご報告いたします。(報告 岩江眞理子・D51)



Fグループ総会

4月29日、本年は山手のカイバー記念講堂にて合同総会を持ち、引き続き山手キャンパス12号館本部会議室にて、蔵田雅之音楽学部長をはじめ6名の先生方をお迎えしてのFグループ総会となりました。

まず大谷会長より、同窓生相互の親睦・研鑽機会の企画提供・大学支援を行い、さらに4つの地方支部が今まで以上の活躍が出来るよう支援していかたいとの挨拶がありました。蔵田先生より「出席の先生方の紹介があり、ついで先生方からもひと言ずつご挨拶をいただきました。蔵田先生より、日頃の学部への支援を感謝する言葉をいただきました。」

その後、08年度会計報告・会計監査報告・09年度予算案、08年度の活動報告・09年度活動予定が報告され、それぞれ承認されました。また、09年度会長任期満了に伴い、選挙管理委員会委員長より挨拶、報告がありました。続いて各支部長より活動報告がなされ閉会となりました。

カイバー記念講堂での合同総会ということもあり、たくさんの方のFグループの会員の皆さまにご出席いただき、和やかな総会となりました。本年度も皆さまのFグループへのご参加を心からお待ちいたしております。

(報告 吉田牧子・55回)



第25回 りてら総会

4月29日(水) 合同総会終了後、6号館606教室において、りてら総会が開催されました。合同総会会場から少し離れた教室でしたが、多くの同窓生の出席を得ました。

始めに、田辺会長の挨拶があり、総会議題にりました。2008年度事業報告、決算報告、りてらショップ会計報告、2009年度会計予算案、事業計画案について原案通り承認されました。

その後、宮坂学長がご到着、今後のフェリス学院大学発展に同窓会の協力を期待するとのお話をいただきました。

そして、軽食を頂きながら和やかな雰囲気の中、懇談会に移りました。

まず、りてらショップの商品が当たるお楽しみ抽選会が行われました。役員が番号を書いてあるクジを引き、7名の同窓生がめでたく幸運を射止めました。楽しいひと時を過ごした後、最後に会長のピアノ伴奏で讃美歌を合唱して閉会いたしました。

(報告 鈴木裕子・72E)



音楽学部新卒業生演奏

*クラリネット独奏 川越あさみ

●ドニゼッティ作曲 クラリネットのための第一練習曲

*ソプラノ独唱 青木由布子

●中田喜直作曲 ゆく春

●J・S・バッハ作曲 《マタイ受難曲》より「我は汝に心を捧げん」

ピアノ 門馬 和子



二〇〇八年度卒業式

同窓会では、今年、

●文学部264名

●国際交流学部

202名

●音楽学部97名

●大学院26名

の卒業生をお迎えすることができました。



恩師登場

短期大学家政科の思い出

矢野 知子



私は1976年、それまで中国料理を教えておられた李先生の後を受けて家政科非常勤講師として勤務することになりました。

振り返ると戦後のまだ物資の不足していた時代に発足した、短期大学家政科に私が入学した頃は調理器具も何もかも不足していて、先生が指定された本もほとんど入手困難で、放課後みんなで書き写して講義を受けるという有様でした。（もちろんコピーなどという気の利いたものはありません）しかし教えていただいた先生方は非常に優秀な先生で、しかも大変熱心に教えてくださり、充実した2年間を過ごすことが出来ました。

母校で後輩を教えることになった時に、私が教えて頂いた何分の一かでも後輩に伝えられたら……と設備の整った調理室に立って思いました。ところが実習を始めて驚いたことに、マッチがすれない、包丁をどうもつていかわかないなどと問題山積でした。和・洋・中の料理を担当した先生方が同じ問題で悩み、いろいろ話し合いをした結果、1年の前期に基礎調理をやって、それを受講した学生が自由選択で次に進む

という方式にしてスムーズに授業が進むようになりました。

殆どの学生が家庭では調理には無縁のようであるが、授業中の珍事は沢山ありますが、少し紹介してみますので当時は思い出してみて下さい。

①揚げ物の時に遠くから投げ込む学生が多い（油がはねると怖いから）、油のすぐそばで静かに入れればはねないと言ったら、あまり近付き過ぎて長い自分の爪まで油に入ってしまった。

②私自身、本来は左利き、包丁やお箸は右で使うが餃子などの包み物は左のほうがやりやすい、学生とは対面なので左にすれば分かりいいのではと思ってやったら、クラスの何人かはやりにくそうに左で包んでいて私の方がごめんなさいと言う事もありました。

短大の2年間は皆さんにとって蛹が蝶に変身する期間の様でした。1年の前期に講座のある先生方はあのかたがくれた学生がこんなにきれいなになると、謝恩会の際に毎年しばし呆然とすると言っておられた。私も卒業生に街で出会ったときなど、声をかけられても三角巾にエプロンの姿とは結びつかず一瞬誰かしらと思いますが、卒業後間もない頃は話しているとあのクラスあのテーブルにいたと思ひ出しました。

15年間家政科に勤務しましたが、退任後の年数がそれを上回っています。私が教えていた歳に卒業生の方々がなっておられるのではありません。その方たちにお会いした時に、「先生に教えていただいた玉ねぎのみじん切り、ちゃんとやっていますよ」とか、「あの時のレシビ今でも使っていますよ。」などと言って下さるとフェリス女学院の歩みの中のほんの一部分ではあるけれど、短期大学家政科があり、その中で何かが残せた事をうれしく思っています。

大学生課主催 料理教室



は、初めてで心配との面持ちでした。

先生から、家政科の歴史と幕を閉じる経緯が話されると、皆さん一生懸命聞いて下さいました。

現役大学生

を対象にしたお料理教室は、5月14日午後6時から、家政科記念館を会場に開催されました。講師は矢野知子先生です。

授業を終えて山手に集まった学生達

そして、中華料理3品のデモンストレーションのあと実習に入りました。りべるから4名が助手として参加しました。

野菜や肉を切ったり、調味料を混ぜたりと進みますが、途中であちらこちらから「先生」との声が上がり、先生と助手は大忙しでした。出来上がるのと歓声が沸き、にぎやかな講習会でした。

試食タイムは、「美味しい」「思ったより簡単だった」との声がありました。今後は、学生からの要望もあり、先生と調整をして続けて行きたいと思っています。

【献立】

- 紅焼鶏肉（鶏の甘辛煮）
- ホタテとブロッコリーの炒め物
- コーンのふわふわ卵スープ

紅焼鶏肉／鶏の甘辛煮（1皿分）

材料（分量）
とり腿……4枚（5～600g） 長 葱……………1本
生 姜……1かけ 青梗菜（1束3～4本）…2束

調味料（分量）
醤油……カップ1/2 酒……カップ1/2
砂糖……カップ1/2 水……カップ1/3
ごま油……おおよそ

調理法

- ① 厚鍋に調味料と長葱の青い部分とつぶした生姜を合わせて入れ、煮立たせて鶏を皮を外側にして丸めて入れ中火よりやや弱めにして20分くらい煮込む。汁が多くないので途中で返しながら全体に味がしみるように煮る。
- ② 汁が詰まって皮に照りが出たら火を止める。
- ③ 中華鍋を熱し油大さじ1を入れて4～6等分に裂いた青梗菜を炒め、少量の塩・胡椒を加えて湯2カップを注ぐ、煮立ったら湯をあげて水気をよく切る。
- ④ ②が冷めたら1cm厚さに切り、皿に④を放射状に敷いて中心に鶏を盛り付ける。

ホタテとブロッコリーの炒め物（4人分）

材料（分量）
ホタテの貝柱……………200g ブロッコリー……………1/2本
長葱（1cmのぶつ切り）…1-1/2本 生姜（1cm角薄切り）…小1かけ

調味料（分量）
A（下味つけ）
塩、胡椒……小さじ1/2 酒……小1さじ
片栗粉、油……各大さじ1
B（合わせ調味料）
塩……………小さじ1/2 酒……………大さじ1
酢、砂糖……各小さじ1 水溶き片栗粉……小さじ2
スープ……………大さじ2

調理法

- ① 鍋に湯を沸かして、一口大に切ったブロッコリーを入れさっとほぐすようにかき混ぜ、沸騰したら1分ほど茹でてすぐざるにあける。
- ② 中華鍋を熱し、大さじ1の油を入れ長葱、生姜を香りが出るまで炒める。Aを混ぜた貝柱をいれさっと炒めて、ブロッコリーと合わせBを加え、とろみが出たら皿に盛る。

思い出の緑の丘 横浜山手散策

りべるて同窓会の皆さんと、山手を散策いたしました。外国人居留地の面影を残す西洋館も数多くあり、横浜の歴史を感じるこの山手地区は、フェリスのある場所として自分の学生時代を懐かしむ特別な場所でもあります。

連休明けの静かな雨の日でした。石川町南口を出て、郵便局の前を上がるとイタリア山庭園の入口です。明治イタリヤ領事館がおかれたこの場所には今、ブラフ18番館と外交官の家があります。ふたつの西洋館をめぐる中で、階段の木の手すりや廊下の冷やかな空気がかつてのカイパー記念講堂に思いをはせ、洋館の古いバスルームではらせん階段を下りて向かった昔のフェリス寮のお風呂が話題となり、お話を花が咲きました。手入れの行き届いたお庭を眺めていると時の経つのも忘れてしまいます。

山手本通りを、学生時代の時の様に歩きました。家政科として授業に使われていた2号館や学院の新しいカイパー記念講堂を外



から眺め、私たちの集いの場である家政科記念館とかつての学び舎6号館校舎を過ぎると、ベリックホール、エリスマン邸、山手234番館の横浜市認定歴史的建造物を見学することができます。公開はされていませんが、1929年築、アントニン・レモンド氏設計の山手10号館も横浜市歴史的建造物に認定され、先ごろ外装工事を終えたとうかがいました。

古い洋館は、改築や改修を重ね私たちに山手の風景を提示しています。フェリス女学院大学も、大部分緑園都市に移転しましたが、その歴史はこの山手に始まっています。私たちの学んだ山手のフェリスを思い、皆さまもぜひ今一度、思い出の緑の丘へ足を運ばれてはいかがでしょうか？

家政科記念館では、11月2日（月）、3日（火・祝）に、毎年恒例のバザーをいたします。フェリスグッズ、手作り品、寄贈品などを販売いたします。また、両日ともティールームを開き、美味しいケーキとお茶でみなさんのお越しをお待ちしています。

●お問合せ先 見学は各館無料です

- ブラフ18番館 TEL FAX 〇四五（六六二） 六三一八
- 外交官の家 TEL FAX 〇四五（六六二） 八八一九
- ベリックホール TEL FAX 〇四五（六六三） 五六八五
- エリスマン邸 TEL FAX 〇四五（二二二） 一一〇一
- 山手234番館 TEL FAX 〇四五（六二五） 九三九三

献品のお願ひ

フェリス祭バザーのためにご家庭で利用されない未使用の日用雑貨品や贈答品等がございましたら、献品くださますようお願い申し上げます。尚、食料品、衣類は除外させていただきます。バザー販売による収益は、全額維持協力会に寄付させていただきます。

●受付期間…十一月一日まで

毎週木曜日、午前十一時～午後三時

●受付場所…家政科記念館

〒二三一―八七九〇 横浜市中区山手六八

家政科同窓会りべるて宛

郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。

フェリスグッズ

- シルバー加工カードケース 2,800円
- 本革ペンケース
（赤・茶・青） 各1,500円
- 本革ブックカバー 文庫用
（エンジ） 各2,500円
- エプロン
（黒・赤・茶・紺・ピンク）
各2,000円
- ハンドタオル
（ピンク・クリーム・水色・黄緑・白） 各450円
- スプーン・フォークセット 500円



《講習会・グッズ申し込み先》

家政科同窓会りべるて Tel・Fax (045) 662-0750

友井ゆり子先生のお料理教室



梅雨空の中、
6月11日 友井
先生のお料理教
室が、開催され
ました。

今回のメニュー
は、ミネスト
ローネ（野菜具
だくさんのスー
プ）。白いんげ
ん豆とポークの
煮込みと付け合わせにフエツトチ
ーネ・デザートはゼリーでした。

はじめに、友井先生よりお料理の
説明・作り方を教えていただき、新
しいシステムキッチンを使用して
の、楽しい調理実習となり、皆様と
大変美味しくいた
だきました。

お菓子教室で
教えていただい
ております大森
先生をはじめ20
名の参加者があ
りました。

今回、参加さ
れなかった方も、
次回は是非お出
掛け下さい。



小倉志保子先生のビーズ教室

7月9日に、ビーズ教室が開催
されました。

今回、小倉先生はコスチューム
ジュエリーの様なネックレスを教
えて下さいました。スモークピー
ンクのヴィンテージビーズを使い、
サイドには大きめのビーズでアク
セントを作り、金古美色のチェー
ンが全体をアンティーク調にまと
めています。

ビーズアクセサリを作るのは
初めて、と参加された方も、先生
の丁寧な指導で、二時間余りで
素敵なネックレスに仕上げ、首元
を飾って帰れることを、とても喜
んでいらつしました。

いつも先生の教えて下さる作品
は、個性的でありながら、おしゃ
れで、次回の作品が楽しみな講習
会です。



2008年度決算報告書

2008年4月1日～2009年3月31日

科 目	金 額 (円)
収 入	
受 取 利 息	8,560
事業費(グッズ販売、バザー)	629,532
名 簿 代 金	4,000
寄 付 金	265,000
小 計	907,092
前年度繰越金	12,518,956
合 計	13,426,048
支 出	
寄 付 金	141,080
交 際 費	56,000
事業費(グッズ)	22,580
20周年記念行事	985,527
小 計	1,205,187
次年度繰越金	12,220,861
合 計	13,426,048
繰越金明細	
定期貯金(株)ゆうちょ銀行	2,635,109
定額貯金(同上)	3,012,000
通常貯金(同上)	1,576,611
通常貯金(同上)	627,445
普通預金(横浜銀行)	4,369,696
現 金	0
合 計	12,220,861

2008年度運営費報告書

2008年4月1日～2009年3月31日

科 目	金 額 (円)
収 入	
基金運営費(学院より)	2,371,338
合 計	2,371,338
支 出	
消 耗 品 費	48,528
旅費・交通費	364,740
通信・運搬費	882,691
印刷製本費	891,031
報酬・手数料	1,025
会議・会合費	53,713
諸 会 費	70,000
渉 外 費	29,752
雑 費	29,858
修繕費	0
事業費	0
寄 付 金	0
合 計	2,371,338
収入-支出	0

2009年度予算

2009年4月29日

科 目	金 額 (円)
消 耗 品 費	120,000
旅費・交通費	400,000
通信・運搬費	1,020,000
印刷・製本費	605,000
報酬・手数料	2,000
会議・会合費	50,000
諸 会 費	70,000
渉 外 費	180,000
雑 費	10,000
修 繕 費	0
事 業 費	0
寄 付 金	0
合 計	2,457,000

会長 金子知恵

会計 柴田千鶴

石井茂子

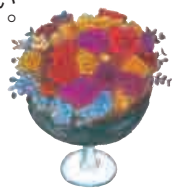
監査の結果、相違ないことを確認致しました。
監査 2009年4月16日

郷 佑美

浅見治美

お 願 い

通年、住所変更を行っております。
住居表示変更のために、郵便物が届かない方が、
増えています。
変更がありましたら、りべるて宛、お知らせください。



Fグループの皆さまへ

Fグループ会長 大谷 園子（11回）



同窓生の皆さま、
お元気でいらつしや
いますか。

今春、Fグループは
大学・大学院の卒業
生107名を新会員に迎え、会員総数は約
3,500名となりました。少子高齢化の
進むなか、伝統を守りつつ進化をはかる母
校フェリスが4年前に行った音楽学部の改
編（演奏学科・音楽芸術学科の2学科制）
のもとでの最初の卒業生です。

皆様とともに

音楽学部長 藏田 雅之



昨年1月に九州支
部、今年1月に北支
部の大きなお力添え
をいただいて、音楽
学部特別演奏会をそ
れぞれ開催することができました。

九州では演奏会後、総会にも参加し、同
窓生の方々と一緒に讃美歌を歌わせていた
だきました。会場の設定から集客まで、た
くさんの方々のお世話になりました。また、

Fグループ会長として私が会報でごあい
さつするのも、今回が最後になります。前
任の中田会長から役目を引き継いだのが2
004年で、それから2期6年、来年春に
は任期満了となります。皆さまのご理解・
ご協力をいただき、心から感謝いたしてお
ります。

思い出されるのは、モーツァルト生誕2
50周年にあたる2006年、大学教授方
の無料出演協力を得て、カイパー記念講堂
で「募金コンサート」（維持協力会主催）
の開催を推進したことです。今後も良き後
輩が巣立ってくれるよう、同窓会もフェリ
ス女学院財政に少しでも寄与したいと考え
たFグループは、他の同窓会や奨学会にも

会場にお越しいただいた皆さま、本当にあ
りがとうございました。

北海道旭川は、演奏会当日マイナス14度
という寒さでしたが、多くのお客様に迎え
られ、学生らにとり生涯の思い出となるツ
アーとなったことでしょう。

旭川のクリスタルホールには中田喜直先
生の記念碑があり、また空港には終日「雪
の降る街を」が流れています。私たちフェ
リスはなんと大きな財産をいただいている
のかと、改めて感じた学生も多数いたこと
と思います。音楽を通して、フェリスの素
晴らしさを今年もお伝えできたらと強く感
じています。

呼びかけて、全学部の新旧同窓生、教職
員・関係者が熱意を燃やしてご協力くださ
り、外部からも多数ご来場いただき、大成
功をおさめることができました。これは最
高の喜びです。

このときにも痛感しましたが、Fグルー
プの同窓生は全国各地に広がっており、母
校への関心と同窓会への理解は途絶えてお
りません。また、Fグループ本部と支部、
Fグループと他の同窓会、同窓会と大学な
らびに学院全体といった諸組織間の連携・
協力の態勢がより整ってまいりました。こ
の点も、もうひとつの私の喜びであり感謝
です。ありがとうございました。

地方の支部の皆様には今後さらに密接な情
報交換や、演奏会等でお世話になることに
思います。何卒よろしくお話し申し上げ
ます。皆様とともに一歩一歩の歩みを進ん
でまいれたらと思います。

山手キャンパスで
は、大オルガンを演奏
しての音楽礼拝を毎週
木曜日、12時半からフ
ェリスホールで行つて
います。横浜にお越し
の折には、是非ご参加
ください。教員も参加
いたしております。



木曜の音楽礼拝にて

2008年度

音楽の贈り物

ジョイントコンサート

08年9月15日 フェリスホール

08年のジョイントコンサートはお天気にも恵まれ、フェリスホールにはお陰さまでたくさんのお客様にご来場いただきました。

新入会員の方のヴィオラの堂々とした演奏で幕を開け、ソプラノ、ピアノのフレッシュな演奏に続き、ヴィオラ・ダ・ガンバのアンサンブルと多彩なプログラムで綴るフェリスならではのユニークな演奏会になりました。



卒業後も音楽活動の中での様々な出会いを温めながら、丁寧に勉強を続けておられる同窓生の演奏を、卒業生だけでなくより広い方々に聴いていただけたことは大変貴重なことと感じました。

今年も9月23日、フェリスホールにて開催の予定です。懐かしの山手の丘へどうぞお出かけくださいませ！

(担当) 海野美栄・44回

【08年度出演者】*福田真智子(ヴィオラ独奏・57回)・齊藤舞(ピアノ伴奏・56回) *都留理恵子(ソプラノ独唱・51回、院5回)・永野聖子(ピアノ伴奏・52回) *柴川敦子(ピアノ独奏・53回) *三浦晴美(ピアノ独奏・53回、院7回) *前田佳代(ソプラノ独唱・55回、院9回)・中川由紀子(ピアノ伴奏・55回、院9回) *神戸倫樹美(20回)・小泉美千代(44回)・小澤絵里子(33回)・武田桃子(56回) (ヴィオラ・ダ・ガンバ伴奏)

◆ジョイント・コンサート出演者募集

毎年9月開催予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。(書類選考あり)

研修会

08年10月14日 緑園チャペル

08年の研修会は、読売交響楽団正指揮者の下野竜也氏をお迎えしてご講義を頂きました。今回は初めての緑園チャペルでの開催となりました。

あいにくのお天気ではありましたが多くの皆様にお運び頂き、終始暖かな雰囲気の中で行われました。

前半は指揮者を目指したきっかけや半生などを、ユーモ



アを交えて楽しくお話し頂き、後半はオーケストラの冒頭部分の楽譜を用いて、どのように音楽を作り出しているのかを、ピアノを弾きながら詳しく説明頂きました。音楽に対する真摯な姿勢を拝見し、大変多くのご好評を頂きました。貴重な会となりましたことに心より感謝申し上げます。

(担当) 井上千佳子・44回

ティータイムコンサート

08年11月13日 山手6号館632教室

08年のティータイムコンサートは「アイランドの風に乗って」と題し、講師に安井マリさん(34回)をお迎えしました。

安井さんは現在、アイランドの民族楽器「ティンホイッスル」や「アイリッシュユフルート」の演奏家として活躍されています。

当日は、賛助出演の柳澤聡美さんと廣瀬

沙耶佳さんと共に、軽快なダンス曲からしっとりとしたエアーまで、楽器の説明を交えながら演奏して下さいました。



(担当) 清水千晴・52回

◆新役員紹介

副会長 熊本美也子(17回)
書記 吉田 牧子(55回)
常任 星野 育子(24回)

Fグループ2009年度コンサートのご案内

ジョイント・コンサート

9月23日(水・祝) 14:00開演

於：フェリスホール ¥1,000

【出演者】

ピアノ：新 理恵(50回・院4回)、池浦もと子(51回・院5回)

声 楽：町田信子(18回)、柿本有衣(56回・院10回)

丹野愛弓(58回・大学院在学中)

クラリネット：川越あさみ(58回)

ティータイム・コンサート

10月8日(木) 14:00開演

於：フェリス女学院大学山手632教室 ¥1,000

内容：楽興の時を求めて

～ピアノ・ソプラノ・三味線による演奏とお話～

講師：藤村公子・下河邊宣子・杵屋花那(11回)

研修会

～歌手とピアニストのための公開レッスン～

11月24日(火) 18:30開演

於：フェリスホール ¥1,000

講師：ダルトン・ボールドウィン(ピアニスト)

《お問い合わせ・お申し込み》

Fグループ事務局(木曜日 10時～17時)

Tel & Fax : 045-681-6740

西沢幸彦先生 安らかに

杉浦 容子 (48回・院2回)

昨年10月20日、西沢先生の訃報を知りました。亡くなる1週間前に電話でお話したとき、少し細い声ながらもいつもと変わらず冗談ばかりおっしゃるので、病氣は快方に向かっているのだと、どこか無理に信じていました。

思い出される先生のお姿はお元氣なままで、もう二度とお会いできないなんて未だに受け入れられずにいます。突然支えを失ったような不安と寂しさを日増しに感じ、

どれだけ先生の存在が私にとって大きなものだったかを痛感しています。

コーヒを片手に、キ

ヤスターマイルドをゆつたりとくゆらしながら、「大丈夫、なんとかなるよ」

先生がそうおっしゃるならきっと大丈夫、と安心できたのは私だけではなかったと思います。それを表すように、研究室にはいつも自然と学生達が集まり、音楽に留まらず生き方に至るまで、先生の考え方にヒントを得ようと相談事は尽きませんでした。

今は、先生の言葉を空しく手探りしなくてはならなくなりました。「もう自立しない」と声が聞こえてきそうですが、これからは心の中で私たちを導いていただきたいと願っています。



支部だより

北支部

支部長 工藤 羊子 (30回)

09年1月24日に旭川にてフェリス・コンサートが北海道で初めて催され、盛りだくさんの贅沢なプログラムによる素晴らしいコンサートに、多くの方々が聴きに來てくださいました。

友人などに感想を聞いたところ、皆から返ってくる言葉に「聴いていて暖かい気持ちになった」というものが多くありました。これはフェリスで学んだ者として、大変嬉しいことです。今回は、前Fグループ会長の中田幸子先生が、準備段階から非常に大きなご助力を下さり、またさらに合唱アンサンブルの指導・指揮もして下さいました。大谷会長にも大変お世話になり、紙面を借りまして、お二人にお礼を述べさせていただきます。

中部支部

支部長 牛込 まり (25回)

大学同窓会総会が役員の皆様のご尽力によりカイパー記念講堂で行われ、「四半世紀以上も昔!」のことを思い出していました。小塩節先生が「外国にお住まいで、母校のために役に立ちたい」と思っておられる同窓生のお話をされました。伝統ある母校を持つ事のありがたさを感じています。

支部活動では、昨年度最後の「生徒さん達

の合同発表会」は大盛況でした。同窓生が子供達に音楽の楽しさを伝え、フェリスの精神を伝えていっていることを感じます。

今年度の秋の演奏会には黒川浩先生をお招きします。フェリスの先生、そして卒業生の演奏を聴いていただくことが、何よりもフェリスをお知らせできる手段ではないかと思えます。

近畿・中国・四国支部

前支部長 柴田 美和子 (21回)

09年4月18日(土)京都嵐山で、田隅靖子さん(10回・京都市立芸大名誉教授)を囲みお話を伺いました。短大卒業時が本当の意味でのピアノと音楽探求の出発点、名古屋に戻って勉強を続け、演奏経験を積みながら結婚・出産、そして桐朋とフェリスで教師としてスタートしたのは20代後半。ご家族と共に転居した京都で市立芸大の非常勤を始めた頃は、育児と並行して教師の責任を果たす為に、協奏曲を含めたレパートリーを広げる大変な努力をなさった由。

その後テーマを決めてフランク、ショスタコービッチ、ブーランク、アウシュビッツで命を絶たれた作曲家達へと生き生きと取り組まれたご様子から、音楽への愛と好奇心が人間や地球へと広がって次の何かがある? 参加した若い同窓生にも素敵なメッセージでした。

九州支部

支部長 安波 裕子 (24回)

九州支部主催の演奏会として、09年2月28

日に平松先生、ラファエル・ゲラ先生によるジョイントコンサート、4月25日に土屋先生、橋高先生によるティータムコンサートを開催しました。どちらも大盛況でお褒めの言葉を多く頂き、一般の方々にもフェリスの良さを知っていただけたと思います。

また、昨年9月17日には全同窓会の当番で、岡野学院長のお話と落合敦先生の演奏を企画致しました。ボランティア活動による訪問演奏を4回、ゲラ先生による講座・レッスンを3回行いました。

私共は同窓生の為の活動の他、学校とのパイプ役としてフェリスを紹介しています。参加して下さる方々にも楽しんでいただき、同窓生の輪が少しずつ広がっています。

『山手の丘に音楽誕生』

創設の苦難の時代から40余年にわたる音楽科の歩みに90年音楽学部発足からの10年間を追補。各年のデータベース付。まだお持ちでない方にお勧めの一冊! ご希望の方は

事務局まで。
(1冊・2000円)



フェリス音楽教室

子どもたちとともに50年

毎週土曜日
音楽学部校舎で授業

<山手教室>
045-212-2396

<緑園教室>
045-813-1070

<http://www.ferrismusicinst.org>

2008年度会計収支報告

＜収入の部＞

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額
終 身 会 費	4,000,000	4,000,000
研 修 会 会 費	100,000	84,000
ティータイム会費	30,000	50,000
ジョイントコンサート	280,000	300,000
宛 名 シ ー ル	15,000	23,120
雑 収	50,000	68,346
寄 附		100,000
小 計	4,475,000	4,625,466
前年度繰越金	2,746,548	2,746,548
収入の部 合計	7,221,548	7,372,014

＜支出の部＞

(単位:円)

項 目	予 算 額	決 算 額
(1)運 営 費	1,620,000	1,257,707
会 費	30,000	4,723
会 印 刷 費	60,000	57,310
通 信 費	150,000	110,825
人 件 費	480,000	517,560
交 際 費	80,000	38,190
事 務 費	50,000	46,478
備 品 費	100,000	109,465
出 張 費	60,000	40,600
交 通 費	330,000	284,220
学 年 幹 事 会 費	70,000	48,336
特 別 委 員 会	10,000	0
予 備 費	200,000	0
(2)活 動 費	3,150,000	2,420,445
総 会 関 係 費	550,000	477,398
研 修 会 関 係 費	350,000	236,015
ティータイム関係費	130,000	113,960
会 報 関 係 費	750,000	602,457
ジョイントコンサート	320,000	220,791
リサイクル後援費	100,000	100,315
支 部 関 係 費	550,000	513,560
慶 弔 関 係 費	200,000	155,949
予 備 費	200,000	0
(3)諸 会 費	370,000	370,000
連絡会維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4)積 立 金	750,000	750,000
名 簿 積 立 金	50,000	50,000
積 立 金	700,000	700,000
(5)予 備 費	1,331,548	363,877
支 出 合 計	7,221,548	5,162,029
剰 余 金		2,209,985
支出の部 合計	7,221,548	7,372,014

監査の結果、妥当かつ正確であったことを確認しました。

Fグループ会計監査 中田 幸子 (印)
井上 眞記子 (印)

from
once a student

卒業生だより

パリでの生活を始めて、早いもので一年が経ちました。いま私は、パリ国際芸術都市 (City of Arts) に居住し、音楽院に通いつつ研鑽を積んでいます。

City of Arts には、世界各国から様々な分野の芸術家が集っており、皆国籍も年齢も様々ですが、アートという共通項を通して関係を築いていくことができます。ここは展示や演奏会が頻繁に行われるなど、「表現する」ということが日常的にある空間です。あらゆることに感覚や意識を刺激されながら、毎日ピアノに向かっています。

吸収しどう表現するか、どう自分らしさを加えていくか：違った角度から日々のこと、そしてフランス文化について考えることができ、とても良い影響を受けています。パリは、いろんな表情を持っている街だと思っています。時には圧倒されそうになりつつも、芸術について学び、様々な人と触れ合い、自分を見つめる。音楽について、そして自分自身のこれからについて模索している今、こういった環境に身を置くことはとても幸せだと思います。今後とも様々なものとの出会いを大切に、音楽家としての感性、自分の可能性を広げていけるよう、日々歩んでいきたいと思っています。

尾藤 万希子 (51回・院5回)



パリリュクサンブル公園でのひととき

学年幹事会

出席人数28名。08年度一般会計収支報告(仮)・会計監査報告・09年度一般会計収支予算(案)報告・08年度活動報告及びそれらの承認、各役員報告等が行われました。本年度は会長選挙の年にあたる為、選挙管理委員会を発足し、出席者より5名が選出されました。会は滞りなく進行し、和やかな雰囲気にて茶話を楽しんだ後、閉会となりました。(報告 土屋友紀・48回)

選挙管理委員会からのお知らせ

●任期満了に伴うFグループ会長選挙

2009年度末に任期満了となる同窓会会長の後任(任期は2010年4月から3年間)は、会則に基づき選挙によって選出されます。会長の仕事は、同窓会全員の代表として、母校創立の精神を尊重しつつ、会員相互の親睦と発展に尽力することにあります。自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会へご連絡ください。よろしくお願いいたします。

●立候補提出期限…2010年1月13日

●提出先…Fグループ選挙管理委員会
(Fグループ事務局気付)

●委員長…小島尚子 (54回)

●委員…川野とし子(8回)、篠原純子(14回) 四ツ倉緑(18回)、平井桂子(33回)
*問い合わせは小島尚子まで
電話&FAX: 04-41988-7121

おめでとうございます

土屋 友紀さん(48回・院3回)
"万里の長城杯国際音楽コンクール"
奨励賞受賞

海野 美栄さん(44回・院1回)
"第19回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール" 入選

●Fグループ事務局 木曜日10時~17時

◆2008年度版名簿発行のお知らせ
Fグループの2008年度版名簿が近々出来上がりの予定です。送料込1,500円。お申込は事務局まで。作成にあたりましては皆様大変お手数とご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

◆住所・電話・姓の変更 旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

◆慶弔 同窓生、先生の慶弔を二報下さい。

◆山手校舎6号館632教室の貸出し、宛名ラベル印刷、演奏会の後援を行っております。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。
電話・FAX (045) 6811・6740
E-mail: f-group@feris.ac.jp

●フェリス女学院維持協力会募金箱についてご報告

Fグループ催しの折、設置しております募金箱より計31,745円を08年12月22日、維持協力会へ送金しました。ご協力頂きありがとうございました。

Fグループ会報編集

澤田 真美(52回) 坂口 由紀(52回)

「フェリスの力」

学生部長 高田 明典



ることによって発生する「力」であると考えています。

学生部は、本学の学生がかかえる様々な問題に対処し、解決を図ることをその仕事の中心とする部署であり、主として学生課と学生委員会によって構成されています。大学の「力」とは、各学部・学科もしくは個々の教員の持つ教育力にその源がありますが、様々な理由でそれを享受しにくい状況が発生することがあり、それを底で支え、支援するための全学的組織が「学生部」です。ただし、社会的な状況が「歴史的」と呼称されるほど悪化している中で、他大学に比すれば比較的对処の困難度が軽微なものが少なくないこともあり、「フェリス」という場所の持つ力を実感したりもしています。

「場の力」とは、もちろん、同窓会や奨学会などによる御支援を含むものですが、加えて「名の力」というものの存在を感じています。それは「フェリス」という名を大切に思い、決して毀損することのないように、また、その名に付随する価値を高めるべく、日々努め

ることに「フェリスの力」は小さくありません。私のゼミの卒業生だけでも、ソニー・コンピュータ・エンターテインメント、H・I・S、ベネッセコーポレーションなどのいわゆる「東早慶など老舗系差最難関大学」の学生でも難しい」と言われる企業に入社しており、内定のみであれば、難関とされる企業名をさらに多数挙げることができます。また私の院生は、1名がアーテック専攻でドイツのデュッセルドルフ大学に留学中、1名がラグジュアリーブランドの研究でタイに留学中であり、双方ともおそらく専門分野の研究者になっていくと思われる。修士一年の院生の論文は、この十二月に刊行の情報処理学会論文誌に原著論文として掲載される予定です。もちろんそれは、私が担当する学生・院生だけの話ではなく、他ゼミではより素晴らしい実績を残しています。

「フェリスの力」は伝統の力でもあります。それは「フェリス」という名の持つ力であり、私たち教職員は、この「大きな力」をさらに正しく大きな力としていくべく努力しています。卒業生・同窓生の皆さんが、そのことを少しでも心の端に置いていただくと、力はさらに大きくなっていくと考えています。

りてらの皆様へ

会長 田辺 真弓 (72 E)



眩しい夏がやってまいりましたが、お変わりなくお過ごしでしょうか。今年も三月に、文学部・国際交流学部より五百二十名の新入会員をお迎えすることができましたことは、りてらにとって大変嬉しいことです。そして来年、フェリス学院創立一四〇周年の記念の年を迎えようとしております。私達も母校の一四〇年を心からお祝いしたいと思います。

りてらでは、間もなく緑園キャンパスに於き「秋の講習会」と銘打って、グラスリツェンとブリザーブドフラワーを企画しております。どちらも同窓生講師によるものですが、他同窓会の方もどうぞ親しくご参加下さい。また卒業生のために毎年行なわれるクリスマス礼拝では、聖書を拝読し讃美歌を歌い、学生時代を懐かしく思い出される方も多いことと存じます。クラスメイトをお誘いし、懐かしい先生方にも、お声をお掛け下さい。特に歴史あるカイパー記念講堂のステンドグラスは「迷える一匹の小羊」を題材に、今も私達に語りかけてくれています。当時親しんで見慣れた山手校舎界隈も、改めてその価値を発見できるので

はないでしょうか。また、大学の研究室として使用されていたことのある山手十号館が、横浜の歴史的建造物として認可されました。

さて学年幹事についてですが、クラス会を開催なさりたいなどのご要望は、学年幹事または同窓会室で承ります。そのため住所変更は忘れずに同窓会室までご連絡下さい。幹事から、お知らせが届くことになっていきます。このように幹事は、会員と同窓会組織とを繋ぐ大事なパイプ役です。卒業時に各学年・学科から、おふたりが選出されます。幹事会に出席して、学院の近況を伺ったり、会員の意見を同窓会に伝え、学院をお支える重要な役目です。りてら会員は文学部・国際交流学部卒業生・大学院修士に至り、年々増加しております。勿論この会報は、海外までお届けします。りてらの行事にご出席なさり、旧友との再会を楽しんでいらっしゃるっていいかがでしょうか。理事長始め、学院長、学長のご出席のもと行われる総会では、同窓会の活動報告や、決算報告が行われます。

総会、山手の丘でのクリスマス礼拝、そして緑園キャンパスの大学祭が皆様をお待ちしております。国境を越えジェンダーによる枠を破り、世界で活躍する女性、フェリス女学院大学からも育っています。脈々と成長するフェリス女学院大学を実感なさってください。

卒業生だより

◆「七色の虹」

帰国子女小学生 英語スピーチコンテストより

幹事 鈴木 英子 (52 E)

数年前、私達のボランティアのクラスからこのコンテストに参加して優勝した小三女子の印象的だったスピーチの一節を紹介します。

「虹は七つの色があるから美しい。世界の国々もそれぞれの色を輝かせて、仲良くすれば世界は一層美しくなる。」全く同感で、日本には日本の伝統文化を大切にして国際交流を深め、世界に輝きたいものです。人も十人十色、生まれもつた色を認め合い、上手に調和出来れば、世の中も美しくなるでしょう。

*別紙にて、幹事の方のお名前を發表させて頂いております。

◆ブルキナファソを訪れて

松本 郁美 (03 J)

卒業後、異文化コミュニケーション学に興味を持ちフェリス学院大学大学院に進学。修了後、自分が学んだ事を実際に体験してみたいと思い飛び出したのが台湾でした。台湾ではフェリス女学院とも交流のある輔仁大学で約3年間、世界各国からの留学生とともに中国語を学び、帰国後は台湾での経験を活かして中華系エンタメ情報サイトで台湾のテレビドラマの字幕翻訳や芸能ニュース翻訳、台湾の文化や観光情報を紹介する仕事をしていましたが、昨年の景

◆アメリカで出会った日本の心

大黒 直子 (84 E)

碧くて深い目、亜麻色の髪を持つドクターの口から語られる言葉といえば、「以心伝心」「易行往生」「因果律」「恩義」。

イタリア系アメリカ人のドクターアイエロは、私が忘れかけていた日本のよさを、次々と話してくれる。

ドクターとの出会いは、アメリカカリフォルニア州にあるカイロプラクティックのクリニック。そこでは、人間の、本来持っている自然治癒力を目覚めさせるべく、脳からの信号を体中に行き渡らせるために、首や背骨のアジャスト

気悪化による事業縮小を機に退職。また新たな道を模索する中、今度は台湾で出会っ



が行われている。でもそれだけではなない。ドクターは、40年以上もの間、日本の武道の修行を積み、心と体のつながりをとても大切にし、患者ひとりひとりが自分から健康になろうとする手助けを惜しみなくしてくれる。その精神の源にあるのが、日本の風土 (Kibos) なのだ。

日本にいたら気づかなかったかもしれない日本のよさ。日本人の気質、言葉、そして武道。日本人より日本のことに心酔するドクターだからこそ、気づかせてくれたのだ。そして、この年で、初めて武道をはじめた。自分をみつめ、鍛え、相手を倒すことを目的としない、本当の強さを求めた稽古が展開されるドクター主宰の「糸東館」(しとうかん)。稽古中は、頭が真っ白になり、汗だくになり、稽古後は、爽快感

た友人たちがいるブルキナファソを訪れる機会に恵まれました。

ブルキナファソは西アフリカの内地にある小さな国で、現地では日本のJICAや青年海外協力隊の方々も活躍されています。国の電気と水が不足しているため、停電や断水は日常茶飯事。キャンプを灯しての生活や街灯がない真っ暗な道路を車が走りかう光景には驚きましたが、一方で豪華なホテルや新築の家が建ち並び開発が進んでいる地域での快適な暮らしに、これからの発展が楽しみです。また、男性も女性も40度を超える暑さや視



でいっぱいになる。日本のどこに、47歳の初心者女性を喜んで受け入れる道場があるだろうか。

そうして、どんどん、自分の中の日本人としての魂に気づいていく。それを誇りに思えてくる。強くなつて、他人にやさしくなりたいと思えてくる。やっと Ferris の精神、For Others が実現できるのかもしれない。

界が悪くなるほどの砂ぼこりも気にすることなくオシャレを楽しみ、鮮やかなデザイン生地で作った衣装に身を包んで歩く姿は、ファッションショーを見ているようでした。

日本とは言語も文化も全く異なるブルキナファソ。公用語であるフランス語は現地で覚えた片言でしたが、日本語、英語、中国語が通じる友人たちに支えられ、新しい発見が連続の充実した時を過ごすことができました。1か月間の短い滞在期間ではありましたが、言葉や文化の壁を超えた友人たちとのつながりを感じる貴重な経験となりました。

決算報告

りてら 2008年度決算報告

(2008年4月1日～2009年3月31日)

収入

項 目	決 算
終 身 会 費	14,910,000
預 金 利 息	233,612
雑 収	3,000
小 計	15,146,612
前年度繰越金	37,507,485
合 計	52,654,097

支出

項 目	決 算
事 務 用 品 費	30,584
刷 刷 費	308,706
会 報 関 連 費	3,840,408
総 会 関 連 費	1,480,349
通 給 通 信 費	263,229
雑 交 通 費	1,124,340
手 数 料	421,990
パソ 関 連 費	20,889
会 議 費	6,559
卒 業 記 念 品 代	55,969
交 際 費 (慶弔費を含む)	74,713
備 品 費	961,326
リ ー ス 料	219,948
フ ェ リ ス 祭 付	0
寄 計	8,641
小 計	567,113
定期預金繰入	0
来年度繰越金	9,384,764
合 計	10,000,000
	33,269,333
	52,654,097

2008年度

りてらショップ会計報告

(2008年4月1日～2009年3月31日)

収 入	
ジャパンビバレッジ	751,854
フェリスショップ (緑園)	1,435,434
通 販	404,690
白 菊 ・ そ の 他	603,759
利 息	3,593
小 計	3,199,330
前年度繰越金	2,322,150
合 計	5,521,480

支 出	
小 林 紙 工	555,121
サン・クリエイト	190,470
錦プロデューサーズ	740,460
人 件 費	48,100
振込料・その他	53,010
小 計	1,587,161
来年度繰越金	3,934,319
合 計	5,521,480

定 期 預 金	80,000,000
普 通 預 金	33,269,333
合 計	113,269,333

監査の結果、適正なものと認めます。

監査 坂井 久子
出口 祥子

今年、横浜は開港百五十年という年を迎えて大変賑わっている事と思いますが、私共も本大学を卒業して三十年余を数えるところですが、その間、私達は栃木で「栃木フェリス会」を十年ほど前に立ち上げ、県内に在住するフェリス卒業生に賛同頂き、かつ宇都宮大学で教鞭をとられておられた小池清治先生 (元フェリス国文学講師・元宇都宮大学国際学部教授) を特別顧問として活動して参りました。しかし、このところは一昨年の茨城県入会との合同で行なわれたのを最後に栃木県内の方々と交流が中断されております。



私自身は、大学のOG経営「りてら」に農産物を納めている縁でフェリスとは何らかの関係を保っているのですが、この会報をお借りして再び栃木県内の諸姉とお会いできる機会があることを願っています。

りてらショップでは、只今約40種のグッズを販売しております。フェリスマークの入ったA4サイズのサブバッグは好評でしたので、今回は黒い色で販売いたします。お買い上げ頂いた商品の利益金は同窓会活動や母校への寄附等に使われます。同封のカタログを御覧の上是非ショップを御利用下さいませ。

報告 松本世以子 (71J)

りてらショップの御案内

たりとの毎日ですが、本学校を卒業し、農村に嫁いだ稀れに見る経緯をたどっている訳ですが、最近の世の中を見てみると、この地に来て良かったと思うのです。子供達も豊かな自然の中で育つことが出来、(今もって「トロロの世界」ですが) として何よりフェリスで学んだ宗教、そして文学と、今こそ哲学がこの農村にも必要なのだと実感できることが多々あるからです。そんなフェリスの文化を地方の方々にも、広めていきたいと思うのです。栃木在住の皆様ぜひ一緒に活動しましょう。

*お問合せ Tel: 028 (067) 3617

栃木フェリスの近況報告

山口 りえ子 (74J)

講習会の御案内

♥ グラスリッツェン

【日時】 十月十七日 (土) 午後一時
【材料費】 三、五〇〇円十チエーン代 (五〇〇円、一、〇〇〇円)
【講師】 貴田 里砂 (87E)



講師作品

♥ プリザーブドフラワー

【日時】 十一月三〇日 (月) 午後一時
【材料費】 五、〇〇〇円
【講師】 倉田 まゆみ (95J)
プリザーブドフラワーとはお花が最も

美しい時期に加工し、長期間の保存を可能にした素材です。ドライフラワーと異なり色鮮やかで柔らかい風合いが特徴です。水遣りも不要なので、生花では出来ないアレンジを楽しめます。是非、新しいお花に触れてみて下さい。

● プロフィール

倉田 まゆみ (95卒・国文)

35歳主幹

06年4月「プリザーブドフラワーの世界展」優秀賞受賞

06年5月「川崎市フラワーデザイン展」フラワーデザインコンテスト入賞

08年4月「フローラルエアープリザーブドフラワーコンテスト」入選

*講習会のお申し込み、お問い合わせは同窓会室まで。



講師作品

りてらアーカイブ

四回目となります今回は、初めて女性の先生の登場です。
今なお変わらぬ情熱を持って教壇に立ち続けていらっしゃる、
鈴木美南子先生です。



●鈴木美南子先生 略歴

- 【1942年】福岡生まれ。福岡女学院卒業。
 - 【1960年】国際基督教大学入学。
 - 【1964年】同大学卒業・同大学大学院入学。
 - 【1970年】同大学院修了。
 - 【1972年】フェリス女学院大学文学部専任講師。
 - 【1974年】同大学文学部助教授。
 - 【1984年】同大学文学部教授。
 - 【1997年】同大学国際交流学部教授。
- 現在に至る。

皆さん、お元気ですか。私もとうとう「アーカイブ」に登場することになりました。それもそのはず、私が大学文学部の専任講師に着任したのは一九七二年、ちょうど三〇歳のときで、今年は既に三十七年目、来年三月でいよいよ終わりとなります。着任の前にも、国際基督教大学で博士課程まで終えたあと二年間、非常勤講師を務めています。そのとき、既に二人の子持ちではありましたが、まだ学生気分で全く教師の貫禄がなく、よく図書館などで学生と間違われました。

私は「一般教育」の所属でしたから、文学部の教員であっても、専門科目やゼミを持つことはありませんでしたので、私と接

触があった方は「一般教育」や「教職」科目を取られた方ということになります。私の主たる担当科目は、「一般教育課程の『社会思想史』と教職課程の『教育思想史』」で、これらは今日まで私にとつての主要科目です。（大学では、自分の狭い専門分野だけを教えることは許されず、このほか女性学・歴史学・社会学・教育学関連の色々な科目を、勉強しながら担当してきました。）私が日本近代思想史を中心にしながらも、ピューリタン革命やジョン・ロックの思想を併行して研究テーマにしてきたのは、自分の関心とともに、どこかで国文・英文の学生の関心と切り結びたい思いがあったからだと思っています。

一般教育は、専門科目のように濃い関係ではありませんが、たいていは一年制でしたから（今はすべて半年完結）、すっかり名前と顔も一致しますし、おのずから人柄も分かって、印象深い方々が何人もいます。早い時期の卒業生は幾人も、自分の学び舎に再びお嬢さん方を送ってくださっています。

教職課程の履修者はさすがにみな真面目で、私もそれなりに緊張しました。「教員になったら朝八時半出勤」というわけで、私も頑張つて一時限目（八時半開始）に授業を設定していました。車で通勤していたのですが、早すぎると時々、体育館側（山手の）裏門の鍵がかかっている、やむなく、外の公園前に止めたまま夕方まで忘れて、駐車違反になったことも何度かありました。フェリスを出て英語や国語の教員になられた方々が、同じ教員として共感を持つてくださるのか、二、三十年たつとも年賀状などで連絡をくださいます。それぞれの場で新しい問題に直面しながら、自分の向上を怠らず、工夫しつつ努力を重ねておられる様子には、本当に頭が下がります。

山手時代、専門学科の先生以外では、私が着任した時期からしばらく、学長は宮本武之助先生でした。先生が東京女子大学の学長を終えて本学にこられてすぐ、フェリスでも大学紛争があったことを、懐かしく思い出します。学内では危険だということで、外に会場を借りて教授会を行なったこともありましたが、宮本先生の誠実で適切な対応で大事に至らず収拾されました。またこの時期、「一般教育」と「教職」の責任者は小黒聡先生と井上恵美子先生で、小黒先生は既に他界されましたが、井上先生はお

元気で、昨年の大学クリスマス礼拝にお出でくださいました。

私は宮本先生のおすすめで、「学生YMC A」のグループをつくってメンバーと一緒に活動し、大学宗教行事のサマーキャンプ（天城山荘）にも、よく参加しましたので、そこでお付き合いした方々も印象的です。私がそのころ未熟だったのか、当時の学生さんとはとてもしっかりしていて、真剣に考え行動していたように思います。もともとそれは全体の三分の一で、私は長く大学教育に携わつてきて、すべての人が早く遅かれ必ず自覚して芽の出る日があることを信じています。ですから今は聞く耳が無いようでも、言うべきことは言っておこうと心がけているのです。

行事予定

【大学祭】

十月三十一日（土）・十一月一日（日）
緑園キャンパス

【全同窓会クリスマス礼拝】

十二月十二日（土）
カイバー記念講堂

同窓会室御案内

開室 毎週火曜日 10時～16時
住所 〒二四五・一八六〇
横浜市泉区緑園四一五・三
フェリス女学院大学内

電話 ○四五・一八二・一八六九二
メールアドレス life1a@uramus.dti.ne.jp

【会報編集】

- 酒井篤子 (62E)
- 貴田里砂 (87E)
- 板谷宏江 (86E)
- 進藤智美 (88E)

同窓会支部だより

東京支部

昨春秋以降の行事を振り返りながら、ご報告させて頂き度いと思います。

10月に東京支部総会を浜松町にあるビル三九階、眺望の良い東京会館で開催致しました。礼拝で始まり、讃美歌、お祈りなど心に染みるひとときでした。午後の講演は本大学の東西比呂志教授をお招きし、「横浜学―開港一五〇年とその知られざる国際交流」と題し、フェリスとの関りを中心にお話いただきました。

11月には東京で唯一走っている都電、荒川線に乗って小さな旅を楽しみました。

今年は例年通り、初春歌舞伎観劇で幕を開けました。春はビデオによるオペラ「トロヴァトーレ」、次に深大寺と神代植物園へ出掛けて咲き初めの桜をじっくり堪能しました。

このたよりがある頃、宮坂覚学長の読書会、芥川龍之介のお話が好評のうちに終わっていることと思います。

今年度秋の総会中高ご出身で幾何学専攻、山口大学の中川洋子教授をお迎えします。「結び目理論」を解り易く説いて下さるそうで、少し数学に近付けるかと期待しています。先日頂いた大学案内にフェリスの教育目標は「教養豊かな自立した女性を育てる」とありました。これは私共にとつて一生の課題だと思えますので、これからも活動を通して一緒に歩んで行き度いと願っております。

《連絡先》

大川清子 03-33321-2687

高間美鈴 03-377516279

関西支部

2008年度フェリス女学院同窓会関西支部は11月12日(水)、京都国際交流会館ルヴェンヴェールで開催されました。4年ぶりに岡野昌雄学院長をお迎えし、オールフェリス総勢44人の参加でした。

関西支部同窓会は例年晴天に恵まれますが、この日も快晴の秋空、窓越しに見える比叡山とインクラインの紅葉の美しさは格別でした。

開会礼拝では水野源三作詞、川口耕平作曲の歌曲集「こんな美しい朝に」より、原田かおりさんのピアノ、当日の幹事柴田美和子さんが神への賛美を歌われ、豊かな礼拝の時を持ちました。岡野学院長からフェリス女学院の現状と将来へのビジョンをお話いただき、同窓生として母校へ思いを寄せて、今回関西支部から維持献金をお捧げしました。

会食後に岡野院長からご専門のアウグスティヌスと音楽についてお話しいただきました。学院から地理的に離れている関西在住の同窓生にとつては滅多にないこと、ご専門のお話を楽しくお聴きすることができ、又の機会を願いました。

京都、大阪、神戸と巡って開催しています同窓会関西支部は例年11月の第2水曜日を定例の総会としています。2009年度は11月11日(水)、大阪で開催の予定です。近隣他府県の同窓生の皆様のご参加をお待ちしています。

関西支部長 清水操

西南支部

主に感謝して。

西南支部は白菊会、りてら、りべるで、Fグループとそれぞれ当番幹事をして戴き、お蔭様で毎年、合同の同窓会・総会を開催しております。

昨年は、大学より岡野昌雄学院長先生を始め、落合敦演奏学科准教授、本部事務局より秋山和子様をお招きして、9月17日に「ホテル日航福岡」で開く事が出来ました。

礼拝を守り、総会を終え、落合先生の楽しいお話を交え、中でも即興メドレーは、その溢れる音楽に堪能させて頂きました。

岡野学院長先生より学院の現状やその思い、又楽しいお話に時を忘れ、秋山様のお話に更に学院の事が分かった次第です。

又、昨年よりFグループを中心にハンドベルの仲間を作り、その演奏も披露させて頂きました。その後、校歌を合唱し閉幕となりました。出席者は51名と大勢で、喜んで戴きました。

今年度は、10月17日(土)に宮坂覚大学長先生、秋山和子様にご来福をお願い出来ました。

九州の方は勿論、それ以外の同窓生の方もご参加戴ければ、嬉しく思います。御一報をお待ちしております。

西南支部長 伊藤和子

(音楽科24期卒)



白菊会より

大学同窓会のみならず、お元氣にご活躍のことと存じます。いつも中高の卒業生の集まりであるフェリス白菊会をお氣にかけてくださって感謝しております。

一つの同窓会として、フェリスファミリーの集うクリスマス礼拝を毎年守っておりますが、ほかになかなか一緒にできないのが少し残念に思われます。サークル活動での交流などを通して各同窓会員の触れ合いを増していけたらと願っています。フェリス白菊会ではさまざまなサークル活動をしておりませんが、そのうちの一つ、岡野昌雄学院長のお話によるギリシア哲学の会をご紹介します。

2007年に始まりました。ギリシア悲劇の紹介が入口で、岡野学院長の熱い語り口に引き込まれました。オイディプス王、オ레스ティア、メディアなどを読みながら解説と脱線も少々。詩や聖書の話も織り込みながらの講義でした。そのあと、「国家」をじっくり読みながらプラトンの哲学をほんの少しかじらせていただきました。この5月から哲学史の講義が始まっています。

毎月第三火曜日の一時半から、白菊会同窓会室で開講しています。ご希望の方は白菊会までお申し込みください。

日ごろの生活ではなかなか触れる機会のないギリシアの哲学を学生に戻って勉強してみるのはいかがでしょうか。お待ちしております。

白菊会会長 服部ひろ子

●同窓会は外国にもあります

- ニューヨーク事務所
Mrs. Rakuko Kuwayama
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.
TEL 212-675-3840
- ハワイ事務所
Mrs. Chizu Hatakeyama
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.
96815-4211 U.S.A.
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
- カリフォルニア事務所
Mrs. Junko Yokota
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669

2008年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告 (2008年4月1日～2009年3月31日) (単位 円)

前年度繰越金	922,204
収入	
全同窓会維持費 (70,000×4)	280,000
利 息	1,371
小 計	281,371
合 計	1,203,575
支出	
各支部 (東京、西南、関西) へ祝儀 (含、郵送料)	60,550
クリスマス礼拝関連費	87,215
備品購入	0
合 計	147,765
翌年度繰越金	1,055,810

翌年度繰越金は、1,055,810円です。
以上、ご報告申し上げます。
2009年5月10日 会計 白菊会 西谷 洋子

●フェリス女学院同窓会主催 クリスマス礼拝のご案内

〈日 時〉

2009年12月12日 (土)
午前 11時～12時

〈場 所〉

山手フェリスホール

〈説教者〉

アメリカ改革派教会・
日本キリスト教団協力牧師

キスト 岡崎 さゆり先生

皆様、どうぞご参加下さい。

クリスマス礼拝 (2008年) 献金先

献金総額	130,112円
日本ユニセフ協会	32,528円
日本キリスト教海外医療協力会	32,528円
難民を助ける会	32,528円
社会福祉法人日本医療伝道会	32,528円

学生課だより

大学学生課では、自宅外通学 (ひとり暮らし) の学生を応援しようと、『ひとり暮らし応援プロジェクト』を開催しています。大学に入りたての新生に友人を作ってもらいたいと考え始めた「ふるさとーきんぐ」(学外オリエンテーション内で開催) や、山手キャンパス周辺を中心とした「横浜散策」、ひとり暮らしや女性向けの防犯講話と一緒に学ぶ「護身術講座」など様々な企画を年に数回実施しています。

中でも学生から好評な企画が料理教室です。短期大学の卒業生である大森いく子先生や矢野知子先生に講師をお願いし、山手キャンパスの家政科記念館で行った際には、りべるの皆様に多大なご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

参加学生に感想を聞いたところ、料理の楽しさはもちろん、フェリスの先輩方から学生時代のお話を聞くことがとても嬉しいようです。

こういった、学生が同窓会の皆様とお会いし、フェリスの歴史を学ぶことのできる貴重な機会がフェリスの絆を強めるきっかけになってほしいと願っています。

オリジナル 切手発行のお知らせ

大学では本年三月、オリジナル切手を発行しました。これは記念切手ではなく大学広報の一環として発行したもので、このような形の切手発行は、大学では全国初と思われます。

二〇〇八年度の卒業式、二〇〇九年度の入学式に販売を開始しましたが、好評で予定していた五〇〇シートは完売状況でした。

このたび、大学で通常用に確保してあるものを同窓会にお分けすることになりました。

カイパー記念講堂のステンドグラスをはじめ、フェリスホールのパイプオルガン、緑園キャンパスのチャペル、チャペルのステンドグラス、特徴ある雪洞(照明)を持つ図書館の図柄など六種類を織り込んだ大変美しいものです。

久しく手紙を書くことから遠ざかっている方も多いと思われます。大切な友人知人

大学から

へのメッセージをこの切手に乗せて送ってみるのもいいかもしれません。

来年、学院は創立一四〇年を迎えます。その記念事業の先鞭の意味を持つものです。この切手を眺めつつ、フェリスの深い歴史と伝統をあらためて感じることが出来ます。そしてフェリス女学院大学の卒業生であることを誇りに思うことができれば幸いです。

お問い合わせは、各同窓会事務局まで。

(会員価格 シート一、〇〇〇円)



サークル紹介

ギリシア哲学の会

指導 岡野雄先生
日時 第三火曜日 一時半～三時
場所 中高同窓会室
連絡先 光恵子
〇四五(八九三)二〇二二

聖書を学ぶ会

お話し 気仙三二先生
日時 第二木曜日 十時半～十二時
場所 十二月は第三木曜日 クリスマス会
中高同窓会室
連絡先 杉浦昌子(S26)
〇四五(三三五)一一〇五

世界史講座 ―キリスト教と世界史―

講師 棟居 洋先生
日時 第三木曜日 十時半～十二時半
場所 十二月はお休み
中高同窓会室
連絡先 数原安子(S48)
〇四五(四三三)五六九九

英語読書会

指導 吉野洋子先生
日時 第三水曜日 十時半～十二時
場所 中高同窓会室
連絡先 大島 和子
〇三(三三一)〇七三三〇

書道サークル

初心者の方でも気軽に入会できます。
日時 第四木曜日 一時～四時
場所 大学(山手)六号館別館二階
連絡先 望月幸子(S6E)
〇三(三七七)九一八五

ディジーグリークラブ

指導 田中 順先生
日時 月二回 水曜日 一時半～三時
場所 中高同窓会室
連絡先 鈴木道子(S41)
〇四五(九三三)七六〇三



大学音楽学部演奏会のお知らせ

- ◆9月25日(金) 第11回大学院音楽研究科 横浜みなとみらい大ホール
オーケストラ協演の夕べ
開演 19:00
 - ◆12月18日(木) 第30回クリスマスコンサート 神奈川県立音楽堂
クリスマスオラトリオ(4～6部)他
出演 指揮:小泉ひろし
Sop.西由起子、Alt.田中奈美子、Ten.藏田雅之
Bas.土屋広次郎、Org.宇内千晴
開演 19:00
 - ◆10年3月11日(木) 第19回「メサイア」 神奈川県立音楽堂
出演 指揮:小泉ひろし
合唱:フェリス女学院大学音楽学部合唱団
オーケストラ:フェリス室内管弦楽団
開演 18:00
- お問い合わせ:演奏委員会室 TEL 045-681-5189

Fグループ演奏会のお知らせ

- ◆9月23日(水・祝) ジョイント・コンサート フェリスホール
開演 14:00 ¥1,000
ピアノ、ソプラノ、管楽器によるコンサート
 - ◆10月8日(木) ティータイムコンサート 山手6号館632教室
講師:藤村公子・下河邊彦子・杵屋花那(11回)
内容:楽興の時を求めて
～ピアノ・ソプラノ・三味線による演奏とお話～
開演 14:00 ¥1,000
 - ◆11月24日(火) 研修会 フェリスホール
歌手とピアニストのための公開レッスン
講師:ダルトン・ボールドウィン(ピアニスト)
開演 18:30 ¥1,000
- お問い合わせ:Fグループ事務局 TEL 045-681-6740

永眠者(お届けのあった方)

野口雄 郎先生 二〇〇四・二・九
古川 英先生 二〇〇八・十二・四
青山 三郎先生 二〇〇八・九・二
西沢 幸彦先生 二〇〇八・十二・二十
中村 初穂先生 二〇〇八・十二・二十八
三浦 洋一先生 二〇〇九・一・二十二
前理事 江口 元子先生 二〇〇九・五・十一
りべるで 豊村志津子姉 (D40) 二〇〇五・五
田中賀代子姉 (D37) 二〇〇八
神野 征子姉 (D44) 二〇〇八・九・五
山田 怜子姉 (D35) 二〇〇九・二・二十
向後 愛子姉 (D44) 二〇〇九・三・十一
Fグループ 田代 陽子姉 (23M)
植木 薫姉 (57M) 二〇〇八・十二・十一
佐合 尚美姉 (36M) 二〇〇八・十二・十四
菅野 明子姉 (5M) 二〇〇八・十二・十五
浅野美紀子姉 (8M) 二〇〇九・三・二十四
りてら 西川みや子姉 (54E) 二〇〇六・四・十六
齋藤 知子姉 (77J) 二〇〇七・九・十一
土田 紀子姉 (76E) 二〇〇七・十一・十六
和田真知子姉 (76J) 二〇〇七・十一・十七
松井 智子姉 (93J) 二〇〇七・十二・二十四
大杉 直子姉 (93S) 二〇〇八・一・二
久山 輝代姉 (51E) 二〇〇八・一・四
西島 直子姉 (55E) 二〇〇八・六・八
八杉 貞子姉 (54E) 二〇〇八・十二・二十一

天来の慰めをお祈りいたします。



フェリス女学院 創立百四十周年記念

フェリス女学院は、2010年に創立140周年を迎えます。
2010年12月18日(土) パシフィコ横浜国立大ホールに於て、記念礼拝を予定しております。
ひとりでも多くのご出席をお待ちしております。
詳細は、来年の会報でお知らせします。

大学祭

FERRIS FESTIVAL 2009

●テーマ: Ferris Cruise
～Have a nice trip～

開催日時: 10月31日(土)・11月1日(日)

《両日》 礼拝 10:00

開場 11:00～20:00 終了

開催場所: 緑園キャンパス

編集後記

大学全学部同窓会合同の会報によって、いろいろなつながりが出来ることをとても嬉しく思います。会報を通じて、ともに喜びあえる時間を皆さんで持ちましょう。ご意見ご感想をお待ちしています。

フェリス女学院大学同窓会会報

二〇〇九年八月発行
担当: 家政科同窓会りべるで
〇四五(六六二)〇七五〇
りてら 〇四五(八一二)八六九二
Fグループ 〇四五(六八一)六七四〇